

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

## 事業名 教育用パソコン整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育財務課 情報基盤管理係 電話番号：058-272-1111 (内 3564)

E-mail: [c17773@pref.gifu.lg.jp](mailto:c17773@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 6,805 千円 (前年度予算額：6,805 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,805	0	0	0	0	0	0	0	6,805
要求額	6,805	0	0	0	0	0	0	0	6,805
決定額	6,805	0	0	0	0	0	0	0	6,805

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・教科「情報」の実習に必要なパソコン教室の機器が整備から7年を経過、老朽化し機器の故障が増加していることから、教育用パソコン、ソフトウェア、周辺機器の更新を平成28年度に行った。
- ・また、従前は各校に設置したサーバ機器が故障した場合、パソコン教室が使用できず授業に支障をきたしたことから、授業を停止することなく稼働可能なセンター型サーバシステムに再構築を行った。

### (2) 事業内容

- ・データセンターに集約したサーバ等機器の賃貸借及び保守運用を行う。  
(契約期間：H29年4月～R5年3月)

### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・県 10/10

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	4,406	サーバ等機器の管理運用・保守 期間 6 年 (H29.4~R5.3)
使用料・賃借料	2,399	サーバ等機器のリース 期間 6 年 (H29.4~R5.3)
合計	6,805	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 第3次教育ビジョン  
基本目標 5 「学びを支援する安全・安心な教育環境づくり」  
(26) 「ICT の環境整備と利活用の促進」

(2) 後年度の財政負担

- ・ 次年度以降サーバ機器の賃貸借・保守運用として年間 6,805 千円 (債務負担行為 H29.4~R5.3)、R4 年に教育用パソコンの更新費用が必要となる。

(3) 事業主体及びその妥当性

- ・ 県立学校教育用コンピュータの整備担当課  
普通高校コンピュータ整備・・・・・・教育財務課  
専門高校コンピュータ整備・・・・・・学校支援課  
特別支援学校コンピュータ整備・・・・特別支援教育課

# 事業評価調査（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
普通科を有する高等学校 40 校の教科「情報」の実習に必要なパソコン教室の機器を平成 28 年度に整備し、データセンターに統合したサーバシステムの安定稼働を確保する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
教科「情報」用パソコン室整備率	87.5% (H26)	87.5% (H27)	(H )	100% (R1)	100% (-)	100%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
平成 28 年度末に、普通科設置高校 40 校の教育用パソコンおよび周辺機器の更新を行った。

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
従来、各学校に設置されていたサーバをデータセンターに集約することで、授業を停止することなく稼働するシステムを構築して、各校のサーバ管理業務を極小化することにより、授業に専念できる。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	高等学校における必修教科である「情報」の実習に必要なパソコン教室の機器整備であり、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	全ての普通科設置県立高校で使用するパソコン教室の更新により、同じ環境で教育を提供できている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	各校でサーバ機器の保守管理が不要となり、情報担当教員が授業に専念できる。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 データセンターに統合したサーバシステムを停止することなく保守運用していく。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか サーバをデータセンターに集約して相互に補完させ、授業を停止することなく安定稼働するシステムとして運用する。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	—
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	—